

新市建設計画の主な事業



活力あふれるまちを目指し、中心市街地の整備を進めます

- まちづくり基金造成事業** 6,000万円
市民の連帯強化と地域振興を図るために基金を設置し、まちづくり事業に活用します
- 東和総合支所建設事業** 7,170万円
- 大迫中心市街地活性化施設整備事業** 3億3,332万円
大迫地域に中心市街地活性化施設を整備します
- 桜並木整備事業** 600万円
北上川大正橋下流左岸沿い1,300㎡(石鳥谷地域)に桜並木を整備します
- 道路橋梁整備事業** 8億6,112万円

- 公営住宅建設事業** 2億4,596万円
緑ヶ丘住宅団地(花巻)内に道路・公園を整備。赤坂住宅(東和)に一戸建て12戸を整備
- 消防団装備施設整備事業** 1億2,289万円
携帯無線を購入し、連絡体制を強化します
- 地域高速ネットワーク整備事業** 1,620万円
情報格差をなくすため、ADSL接続サービスの構築を支援します
- 石鳥谷中学校校舎改築事業** 2億8,313万円
- 西南中学校校舎改築事業** 1億2,045万円
- (仮称)花北地区社会体育館建設事業...6,595万円



消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ付積載車を更新します

平成18年度一般会計
補正予算

平成18年度一般会計補正予算が花巻市議会6月定例会で議決されました。補正予算総額は28億4,483万円。新市建設計画に基づき、新規事業や政策を実現するために必要な経費などを盛り込み編成しています。当初予算とあわせると、予算総額は442億5,877万円。ここでは、一般会計補正予算の概要を紹介いたします。



まちづくり
本格的にスタート

当初予算は、大石市長が就任してから、議会への予算案提出までの期間が短く、政策的な協議が十分にできなかったため、人件費や施設管理費など、義務的・経常的経費を中心として編成した骨格予算でした。今回の補正予算は、これに合併協議から引き継いだ事業や新規事業、政策的な経費などを肉付けしたものです。新市の将来像の実現に向け、特色あるまちづくりを進めるための実質的な予算となっています。

財源となる歳入は、市債()が最も多く、補正額全体の約7割を占めています。歳出は新市建設計画に盛り込んだ事業の中から、市民生活とかかわりの深い学校建設や道路整備など、投資的・優先的に予算を配分しました。また、市長の政策公約である、行政評価システム導入事業、次世代地域牽引産業創出事業など、その実現のための事業も計上しています。

本年度は、新市の土台を固める基礎づくりの年です。地域間のバランスや、合併協定で話し合われた事業と新たに始める事業とのバランスを取りながら、新市の一体感の醸成を図り、市民生活の向上と特色あるまちづくりに取り組みます。

バランスよく有効活用

7月
から
市役所の
組織体制が変わりました

より効率的・効果的な行政サービスを皆さんへ提供するため、市では事務事業の一部を見直しました。

教育委員会に組織改革室を設置
市長部局と連動した教育行政を行うため、教育委員会の組織を見直し、改革を推進する「組織改革室」を新設しました。

統廃合を含め、第三セクターの見直しを実施
市が出資している第三セクターの見直しを行うため、新たに政策企画部政策推進課に職員を配置しました。

観光行政の強化と団塊の世代に対応するプロジェクトチームの設置
観光行政の強化を図るため、産業部観光課に2人の職員を増員。総合案内も担当します。また、来年から大量に退職する「団塊の世代」を、本市へ呼び込み移住・定住を促進する「団塊の世代プロジェクト担当」を新たに配置しました。

事務事業の見直しに伴い、市では7月1日付けで17人の人事異動を行いました(掲載は課長級以上)。

教育委員会事務局東和事務局長兼学校教育課長 兼組織改革室長(教育委員会事務局東和事務局長兼学校教育課長) 菅谷 眞喜子 教育委員会事務局総務課施設管理監兼組織改革室主幹(教育委員会事務局総務課施設管理監) 澁沢 吉和

問い合わせ 本庁総務課(☎内線415)

政策実現のための事業

- コミュニティFM調査研究支援事業** 55万円
地域コミュニティFM開局に向けた民間団体の調査研究を支援します
- 行政評価システム導入事業** 1,028万円
効率的・効果的な行財政運営を図るため、新市総合計画と連動したシステムを構築します
- 地域防災力強化事業** 248万円
- 地域づくり支援事業** 900万円
- 乳幼児妊産婦重度心身障害者医療費給付事業** 591万円
- 起業化支援センター運営事業** 160万円
- 次世代地域牽引産業創出事業** 2,260万円
自動車関連産業、デバイス産業への市内企業の参入促進のため、セミナーを開催。また、自動車関連産業への設備投資に対し補助します
- 中心市街地再活性化支援事業** 75万円
中心市街地へ新規出店者の誘導など、今後の方向性について検討します
- (仮称)複合デバイス技術センター設置事業 4,300万円
起業化支援センター内に岩手大学のサテライト機能を持つ(仮称)複合デバイス技術センターを設置します

平成18年度一般会計 442億5,877万円 (うち 補正 28億4,483万円)

■ 歳出 (単位:万円)					■ 歳入 (単位:万円)				
区分	当初予算額	補正額	補正後予算	構成比%	区分	当初予算額	補正額	補正後予算	構成比%
民生費	93億8,663	640	93億9,303	21.2	市税	102億4,962		102億4,962	23.1
公債費	74億2,111		74億2,111	16.8	自主財源	15億4,942	1,477	15億6,419	3.5
土木費	59億2,189	11億9,350	71億1,539	16.1	繰入金	18億 22	4億 59	22億 81	5.0
教育費	43億3,305	7億2,096	50億5,401	11.4	使用料・手数料	9億6,054		9億6,054	2.2
総務費	44億 168	1億9,496	45億9,664	10.4	その他	8億1,675	30	8億1,705	1.8
衛生費	30億4,442	3,385	30億7,827	7.0	依存財源	137億5,000		137億5,000	31.1
農林水産業費	27億6,993	1,741	27億8,734	6.3	市債()	31億8,980	19億8,290	51億7,270	11.7
商工費	20億2,380	4億2,765	24億5,145	5.5	国庫支出金	34億5,505	2億9,682	37億5,187	8.5
消防費	14億9,693	2億5,010	17億4,703	3.9	県支出金	21億9,826	1億4,945	23億4,771	5.3
その他	6億1,450		6億1,450	1.4	その他	34億4,428		34億4,428	7.8
合計	414億1,394	28億4,483	442億5,877	100.0	合計	414億1,394	28億4,483	442億5,877	100.0

※事業を行うために、国や金融機関から借りるお金